令和7年9月16日 編集・発行 農林水産省農産局技術普及課

このメールマガジンは、普及事業に関する情報などを、登録された皆様に無料でお届けするものです。まわりに登録されていない方がおられましたら、ぜひ登録をお勧めください。

登録先は、https://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/index.html をご覧ください。

【本号の内容】

【技術普及課からのお知らせ】

☆農作業受託に必要な機械導入等の支援を公募中!11 月4日まで(令和6年度補正「スマート農業・農業支援サービス事業導入総合サポート緊急対策事業」) 【病害虫発生予報の発表について】

☆「令和7年度 病害虫発生予報第7号」(令和7年9月10日(水)付け)を発表しました。

【施策情報】

☆今年も優良なそば生産農家・集団を表彰します!締切間近!

- ☆ 〈10 月開催〉好評につき第2弾開催!農産物輸出の入門講座のご案内
- ~輸出がはじめての農業者と輸出支援者のための、海外輸出を体系的に学ぶ1泊2日集中プログラムのご案内~
- ☆第1回「田植え不要の米づくりコンソーシアム」を開催します!
- ☆ノウフク・アワード 2025 9月30日までエントリー受付中!
- ☆ (研究成果) 世界初の難脱粒性・難穂発芽性を併せ持つソバ新品種 「はるかみどり」 ~関東以南でのソバの安定生産に貢献~
- ☆(研究成果) 極早生で良食味のニホンナシ新品種「蒼月 (そうげつ)」
- ~ミルキーな甘い香気を持つ大果の青ナシ~
- ☆(研究成果) 「米飯のおいしさ評価用語体系」を公開しました
- ~詳細な品質評価と明確な情報伝達に貢献~
- ☆ 〈みどり戦略技術紹介〉 粘着テープによるウンシュウミカン果実の日焼け軽 減法

++・…… 技術普及課からのお知らせ ……・++

◆農作業受託に必要な機械導入等の支援を公募中!11 月4日まで(令和6年度補正「スマート農業・農業支援サービス事業導入総合サポート緊急対策事業」)

農業支援サービス事業の立上げ・既存事業の拡大の際に行うニーズ調査、専門人

材の育成(例:ドローン操作技能の習得)等、事業(拡大)初期に係る費用を幅 広く支援(定額)する事業について、第5次公募を11月4日まで実施中です。 農業支援サービス事業の主体は、農業者に限らず、農業分野とは直接関係のな い事業者(例:建設業者等。個人・法人も問いません。)でも可能です。

普及指導員の皆様におかれましては、この機会に、管内の事業者に幅広くご紹介いただき、農業現場の人手不足の解消等に役立つ農業支援サービス事業の推進にご協力をお願いいたします。

▼詳細はこちら

- ○スマート農業・農業支援サービス事業導入総合サポート緊急対策事業(令和6年度補正予算)
- ・事業 PR 資料はこちら: https://www.maff.go.jp/j/seisan/sien/sizai/attach/pdf/service-138.pdf
- ・事業の公募情報等はこちら: https://www.maff.go.jp/j/supply/hozyo/nousan/250908_140-1.html

※お問い合わせ先

農林水産省 農産局 技術普及課(担当:スマート・サービスユニット) (03-6744-2107)

++・・・・・・ 病害虫発生予報の発表について ・・・・ **++**

◆ 「令和7年度 病害虫発生予報第7号」(令和7年9月10日(水)付け)を発表しました。

【消費・安全局 植物防疫課】

普及指導員の皆様におかれては、病害虫防除所等と連携し、地域での防除が確実に実施されるようご指導をお願いします。

- ○今後発生量が多くなると予想される主要な病害虫及び地域
 - ・水稲では、斑点米カメムシ類 (イネカメムシを含む) の発生について1道2 府32県で注意報が発表されており(9月9日現在)、今後も全国の複数の地域で多くなると予想されています。
 - ・豆類では、大豆の吸実性カメムシ類の発生が、東北、北関東、北陸、東海、 近畿及び北九州の一部の地域で多くなると予想されています。
 - ・野菜・花きでは、オオタバコガ、シロイチモジョトウ及びハスモンョトウの 発生が、全国的に多くなると予想されています。
 - ・果樹では、なしのハダニ類の発生が、南東北、北関東、北陸及び中国の一部 の地域で多くなると予想されています。また、果樹カメムシ類の発生が、東 北、北陸、東海、四国及び北九州の一部の地域で多くなると予想されていま す。
 - この他、かんきつのハダニ類等、地域によっては多くなると予想されている病

害虫があるので注意してください。

また、今後も継続して気温が高くなる見込みであることから、病害虫の発生量の増加や発生時期の長期化により、農作物への被害が増えるおそれがありますので、発生状況を注意し、適期の防除を実施してください。

▼詳細はこちら

- ・都道府県の発表する病害虫発生予察情報と併せてご利用ください。
- ○「令和7年度 病害虫発生予報第7号」の発表について(令和7年9月10日付け農林水産省プレスリリース)

https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/syokubo/250910.html

○都道府県の病害虫発生予察情報など

https://www.maff.go.jp/j/syouan/syokubo/gaicyu/yosatu/index.html

※お問い合わせ先

農林水産省 消費・安全局 植物防疫課

(担当:岡田、城野、古澤) (03-3502-3382)

++・····· 施策情報 ·····**++**

◆今年も優良なそば生産農家・集団を表彰します!締切間近!

【農産局 地域作物課】

一般社団法人日本蕎麦協会は、毎年、優良なそば生産農家・集団を表彰しており、本年は、令和7年10月31日(金)を期限に募集を行っています。

この「全国そば優良生産表彰事業」は、そばの生産技術の向上や経営改善、安定的な出荷販売のほか、加工品の販売により付加価値を向上させる取組など、全国の模範となるそば生産農家・集団を表彰し、これらの技術や取組を全国に普及することを目的に、平成元年度から実施しているものです。

普及指導員の皆様におかれましては、優良生産農家・集団の積極的な推薦・応募にご協力いただきますようよろしくお願いします。

▼詳細はこちら

○全国そば優良生産表彰事業の概要(外部リンク)

http://nihon-soba-

kyokai.or.jp/2084022269123811240020778333912998329987349202443220107 26989.html

※お問い合わせ先

農林水産省 農産局 地域作物課

(担当:五十嵐、石川、永井) (03-6744-2115)

◆〈10月開催〉好評につき第2弾開催!農産物輸出の入門講座のご案内 ~輸出がはじめての農業者と輸出支援者のための、海外輸出を体系的に学ぶ1泊 2日集中プログラムのご案内~ ______

本講座は、農林水産物・食品の輸出を始める際の基礎知識から実践的な内容まで、輸出全体像を学ぶプログラムです。グループワークや懇親会を交えることで、受講者同士が交流を深め、同じ志を持つ仲間や、異なる地域や業種の方との人脈形成の場としても人気の講座です。

講師には、農林水産省と地球の歩き方のコラボガイド『おいしい日本の届け方』のアドバイザーでもある株式会社 IAC 秋島様をお招きします。

普及指導員の皆様におかれましては、入門講座としてご活用いただける内容となっておりますので、積極的に参加をお願いします。

▼詳細はこちら(外部リンク)

https://www.maff.go.jp/j/shokusan/export/e_mailmaga/pdf/afjgfp_export 202510.pdf

○お申込はこちら(外部リンク)

https://www.afj.or.jp/jaiam/onlineschool/export-camp/

募集締切: 2025年10月1日(水)

○農林水産省と地球の歩き方のコラボガイド『おいしい日本の届け方』 デジタル版は無料ダウンロードができます。(別途メンバー登録が必要となり ます)(外部リンク)

https://maff.export-hr.maff.go.jp/topic/topic6/

○GFP 農林水産物・食品輸出プロジェクト

https://www.maff.go.jp/j/shokusan/export/gfp/gfptop.html

※お問い合わせ先

AFJ日本農業経営大学校

(運営法人:一般社団法人アグリフューチャージャパン)

(03-5781-3750)

メールアドレス: application-online@afj.or.jp

◆第1回「田植え不要の米づくりコンソーシアム」を開催します!

【農村振興局 地域振興課】

農林水産省は、我が国の主食である米を安定的に供給することが求められる中、省力化に資する田植え不要の米づくり(直播栽培)の取組を推進すべく、民間企業等の参画によるコンソーシアムを開催します。

第1回のテーマは、節水型乾田直播を予定しており、実践農業者による取組事例の紹介やパネルディスカッションを通じて、取組状況や課題について情報共有を行い、今後の技術の確立に向けた検討を行うこととしております。

オンライン配信もございますので、普及指導員の皆様におかれましては、是非ご 参加を検討いただくとともに、幅広い周知に御協力いただきますようお願いい たします。

○第一部:企業事例発表(株式会社ヤマザキライス、米井ファーム株式会社、株式会社 NEWGREEN、中部電力株式会社、株式会社ヤマタネ)(予定)

○第二部:パネルディスカッション(株式会社ヤマザキライス、米井ファーム株式会社、株式会社 NEWGREEN、住友商事東北株式会社・住商フーズ株式会社、株式会社ゼンショーホールディングス、農業・食品産業技術総合研究機構)(予定)

▼詳細はこちら

令和7年9月9日農林水産省プレスリリース

https://www.maff.go.jp/j/press/nousin/tyusan/250909.html

※お問い合わせ先

農林水産省 農村振興局 地域振興課

(担当:山本、田中、岡村、大畑、西野) (03-3501-8359)

◆ノウフク・アワード 2025 9月 30 日までエントリー受付中!

【農村振興局 都市農村交流課 農福連携推進室】

多様で魅力的な農福連携の取組を表彰する「ノウフク・アワード 2025」のエントリーを 9 月 30 日 (火曜日) まで募集中です。ご応募お待ちしております♪

◇ノウフク・アワード 2025 特設サイト (外部リンク)

https://noufuku.jp/award/award2025/

普及指導員の皆様におかれましては、各地で農福連携に取り組んでいる方々に対し、積極的な応募へのお声がけをよろしくお願いします。

※お問い合わせ先

農福連携等応援コンソーシアム事務局(一般社団法人日本基金)

メールアドレス: noufukuaward@nipponkikin.org

農林水産省 農村振興局 都市農村交流課 農福連携推進室

(担当:留中) (03-3502-0033)

◆(研究成果)世界初の難脱粒性・難穂発芽性を併せ持つソバ新品種「はるかみどり」〜関東以南でのソバの安定生産に貢献〜

【農研機構】

農研機構は、脱粒しにくく(難脱粒性)、穂発芽しにくい(難穂発芽性)特徴を併せ持つ世界初のソバ新品種「はるかみどり」を育成しました。

脱粒および穂発芽はソバの収量と品質を大きく左右する要因であり、本品種

の導入により安定した生産が期待されます。関東以南では春まき・夏まきの両作型に適性があり、2期作も可能です。

普及指導員の皆様におかれましては、本品種の活用をご検討いただき、現場でのご指導及びご協力をお願いします。

▼詳細はこちら(外部リンク)

https://www.naro.go.jp/publicity_report/press/laboratory/karc/170362.html

※お問い合わせ先

農研機構お問い合わせフォーム(外部リンク)

https://www.naro.go.jp/inquiry/index.html

農林水産省 農林水産技術会議事務局 研究企画課

(担当:吉田、佐藤、髙橋) (03-3502-7407)

◆(研究成果) 極早生で良食味のニホンナシ新品種「蒼月 (そうげつ)」 ~ミルキーな甘い香気を持つ大果の青ナシ~

【農研機構】

農研機構は、極早生でミルキーな甘い香気を持ち食味に優れる青ナシ「蒼月」を育成しました。関東以南の地域では露地栽培で7月下旬から収穫できるため、ニホンナシの需要が高い7月下旬から8月中旬ごろに出荷できます。大果で極早生の青ナシ品種として普及が期待されます。

普及指導員の皆様におかれましては、本品種の活用をご検討いただき、現場でのご指導及びご協力をお願いします。

▼詳細はこちら(外部リンク)

https://www.naro.go.jp/publicity_report/press/laboratory/nifts/170345
.html

※お問い合わせ先

農研機構お問い合わせフォーム

https://www.naro.go.jp/inquiry/index.html

農林水産省 農林水産技術会議事務局 研究企画課

(担当: 吉田、佐藤、髙橋) (03-3502-7407)

◆(研究成果) 「米飯のおいしさ評価用語体系」を公開しました

~詳細な品質評価と明確な情報伝達に貢献~

【農研機構】

農研機構は、伊藤忠食糧株式会社と共同で、米飯の外観、香り、味・風味、食感を表す言葉を広く収集して 120 語に整理し、それぞれの言葉に定義や類義語などの情報をつけ、辞書のように利用できる「米飯のおいしさ評価用語体系」を作成し、農研機構のホームページに公開しました。本用語体系を官能評価に利用することで、米の品種や炊飯方法などによるおいしさの特徴の違いを詳細に評価できます。また、多様な米飯の特徴について、米に関わるさまざまな関係者間の円滑な情報共有に役立ちます。

普及指導員の皆様におかれましては、本用語体系の活用をご検討いただき、現場での円滑な情報共有にお役立ていただけますと幸いです。

▼詳細はこちら

https://www.naro.go.jp/publicity_report/press/laboratory/nfri/170245.

※お問い合わせ先

農研機構お問い合わせフォーム

https://www.naro.go.jp/inquiry/index.html

農林水産省 農林水産技術会議事務局 研究企画課

(担当:吉田、佐藤、髙橋) (03-3502-7407)

◆ 〈みどり戦略技術紹介〉 粘着テープによるウンシュウミカン果実の日焼け軽減法

【大臣官房政策課 技術政策室】

「みどり戦略技術紹介」では、毎月、環境負荷の低減に取り組む農業者の皆様に役立つ技術をご紹介しています。

今回は、粘着テープによるウンシュウミカン果実の日焼け軽減法についてです。

夏期の高温によりウンシュウミカンなどの果実で多発している日焼け果の軽減対策が新たに開発されました。これまでに果実を化織布で被覆する方法が一部地域で導入されていますが、資材のコストが高く、作業が煩雑です。新たな技術は、化織布に比べて7割ほど安価な粘着テープを陽光面に貼付するという簡単な作業です。この技術によりコストを抑えつつ、無処理区と比べて日焼け果の発生は半分以下になります。

本技術の詳しい情報については、みどり技術カタログをご覧ください。

普及指導員の皆様におかれましては、本技術をはじめ、カタログに掲載されている技術の活用をご検討いただき、生産現場で広く活用されるようご指導及びご協力をお願いします。

▼詳細はこちら

「みどりの食料システム戦略」技術カタログ(分割版:果樹) (PDF:7,983KB) p. 7

粘着テープによるウンシュウミカン果実の日焼け軽減法

https://www.maff.go.jp/j/kanbo/kankyo/seisaku/midori/04_midori_catalo
g5_fruit.pdf#page=7

「みどりの食料システム戦略」技術カタログ

https://www.maff.go.jp/j/kanbo/kankyo/seisaku/midori/catalog.html

※お問い合わせ先

農林水産省 大臣官房 政策課 技術政策室

(担当:中野、小松﨑) (03-3502-3162)

 α

※メルマガの配信登録はこちら

https://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/index.html

※バックナンバーはこちら

https://www.maff.go.jp/j/seisan/gizyutu/hukyu/h_mailmag/index.html

※PDF形式のファイルの閲覧について

メールマガジンに記載したURLで、一部PDF形式のものがあります。

PDFファイルをご覧いただくためには農林水産省ホームページ

⇒ https://www.maff.go.jp/j/use/link.html

「3 PDFファイルについて」をご覧になり、「Get Adobe Reader」のボタンで Adobe Reader をダウンロードしてください。